

## じわじわ広がる猫人気

～猫の入手方法トップは“拾った”、ペットの存在意義は…？～

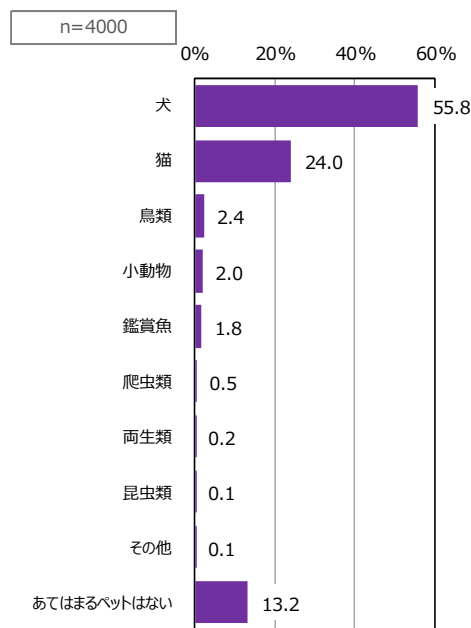
国内1,500社超が利用する日用品流通の情報基盤を運営する株式会社プラネット（所在地：東京都港区、代表取締役社長：坂田政一）は消費財や暮らしにまつわるトピックスをお届けする『Fromプラネット』の第216号として、ペット(猫)に関する意識調査の結果をご紹介します。未掲載のデータ提供や当社担当者が解説を差し上げることもできますので、お気軽にお問い合わせください。

※回答率(%)は小数点第2位以下を四捨五入し同第1位までを表示しています。そのため、内訳の合計と表示値が異なる場合があります。

### ■ ペットの“二大巨頭”、どちらが人気？

あなたは「ペット」と聞いて、なにを思い浮かべるでしょうか。これを4,000人にたずねたところ(図表1)、55.8%と半数以上が回答したのが「犬」、24.0%の「猫」がこれに続きました。3位以下(「あてはまるペットはない」を除く)の合計が7.1%にとどまることから、犬と猫は“ペットの二大巨頭”と言えそうです。

図表1 「『ペット』と聞いて思い浮かべるのはなんですか」への回答



犬と猫をどれくらいの人が過去・現在に飼った経験があり、今後飼ってみたいと思っているのかも聞いてみました(図表2)。“現在飼っている”は犬12.6% vs 猫11.0%と差が小さいですが、“飼ったことがある”は犬44.4% vs 猫27.9%、“将来(も)飼いたい”29.9% vs 23.3%と犬が優勢に。これを年代別にみると、“現在飼っている”は犬・猫ともに20代・30代が全体よりも高値を示しており、若者は動物好きなのでしょうか。全般

図表2 「犬・猫の飼育状況・飼育意向」の回答  
(性別・年代別)

	n =	飼ったことがある		現在飼っている		将来(も)飼いたい	
		犬	猫	犬	猫	犬	猫
全体	4000	44.4	27.9	12.6	11.0	29.9	23.3
性別							
男性	2000	46.8	28.8	12.9	11.5	30.4	21.5
女性	2000	42.0	27.1	12.3	10.6	29.5	25.1
年代別							
20代	348	27.0	16.1	19.3	13.8	30.5	23.3
30代	329	31.0	26.1	14.3	13.1	32.8	32.5
40代	653	36.6	26.2	11.6	11.6	32.5	28.0
50代	993	45.1	28.2	11.7	11.9	31.1	25.7
60代	986	50.6	30.2	12.5	10.8	29.8	22.1
70代以上	691	56.7	32.7	10.9	7.1	24.3	12.7

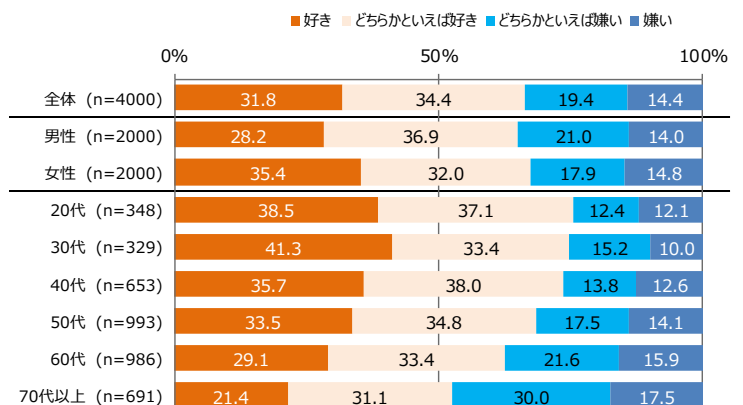
全体より、■ +10ポイント以上 ■ +5ポイント以上  
■ -5ポイント以上 ■ -10ポイント以上

に犬優位のなか、40代は11.6%と両者同率、50代は11.7% vs 11.9%とわずかながら猫の方が多く、働き盛り世代は家で猫に癒されているのでしょうか。“将来(も)飼いたい”では、30代で32.8% vs 32.5%と両者が拮抗しました。

### ■ 女性・若者に“猫好き”傾向

一般社団法人ペットフード協会の2022年調査では、犬と猫の飼育頭数はそれぞれ705万頭・883万頭と猫が上回ったように、近年は猫人気が高まっているという話も耳にします。そこでシンプルに“猫が好きか”をたずねたところ(図表3)、“好き派”(「どちらかといえば」を含む)66.2% vs “嫌い派”(同)33.8%と、前者が3分の2に。性別では“好き派”は男女ほぼ同率ですが、「好き」は女性が男性を7.2ポイント上回りました。また年代別では、世代が上がるほどに“好き派”は減っていき、70代以上では52.5%、「好き」も21.4%程度どまりに。片や40代以下では“好き派”が7割超、「好き」も30代の41.3%を頂点に50代以下で3分の1となりました。近い将来、“ペットと言えば猫”となるのでしょうか。

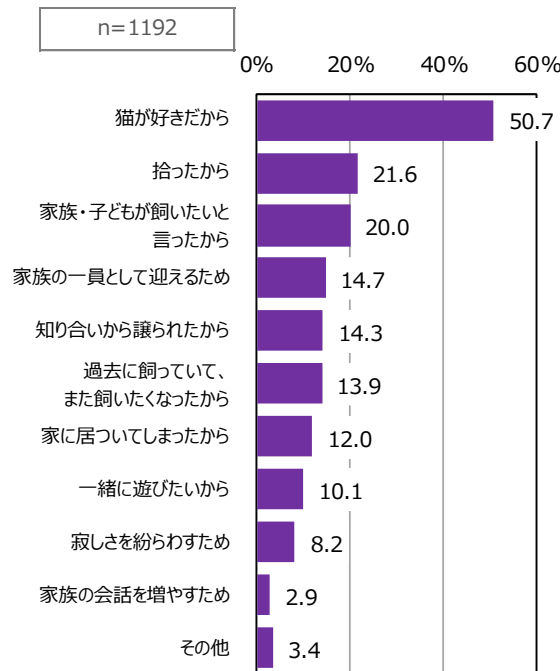
図表3 「猫が好きですか」の回答(性別・年代別)



## ■ 猫を飼い始めたのは“好き”だから、若者は多様な手段で飼い猫を入手

今回は猫を現在飼っている・飼ったことがある人に、さまざまなことをたずねてみました。まずは、猫を飼い始めた理由は(図表4)、基本ともいえる「猫が好きだから」が50.7%と半数に。これに、「拾ったから」21.6%、「家族・子どもが飼いたいと言ったから」20.0%と受動的な理由が続くのは興味深いですね。どのように飼い猫を入手したかも聞いたところ(図表5)、買い始めた理由2位の「捨て猫を拾った」が45.5%で最多に。これに「知人からもらった」31.9%、「ペットショップで買った」11.8%、「保護猫を引き取った」11.7%が続き、全般的に“買う”よりも“もらう”“引き取る”

図表4 「猫を飼い始めた理由はなんですか」への回答(複数回答)



ケースが多いようです。Vol. 178で調査した犬の入手経路ベスト3は(図表非掲示)「人からもらった」44.6%、「ペットショップなどで買った」29.7%、「拾った」14.8%であることから、犬と猫では様相が違います。年代別にみると、20代では全体と比べて「捨て猫を拾った」が32.8%と全体より低い一方で、「ペットショップ」や「ブリーダー」で買った、「保護猫」や「家族から」引き取ったが高位にあり、若年層は多様なルートから猫を入手していると言えます。

図表5 「飼い猫をどのように入手しましたか」への回答(複数回答、性別・年代別)

	n=	捨て猫を拾った	知人からもらった	ペットショップで買った	保護猫を引き取った	知人から買った	ブリーダーから買った	家族から引き取った	亡くなった人から引き継いだ	その他
全体	1192	45.5	31.9	11.8	11.7	4.6	4.1	3.8	0.7	4.4
性別										
男性	614	40.9	35.0	10.7	10.4	5.4	3.6	4.4	0.8	5.9
女性	578	50.3	28.5	13.0	13.0	3.8	4.7	3.1	0.5	2.8
年代別										
20代	64	32.8	31.3	28.1	20.3	6.3	15.6	12.5	3.1	1.6
30代	95	49.5	20.0	13.7	11.6	4.2	5.3	2.1	0.0	4.2
40代	179	53.1	28.5	17.9	11.7	5.6	4.5	1.1	0.6	2.2
50代	300	46.0	30.3	11.0	13.0	5.3	4.0	2.7	0.3	5.0
60代	322	45.3	31.7	9.6	13.0	2.5	3.4	4.3	0.6	4.7
70代以上	232	40.9	41.8	6.0	5.6	5.6	1.3	4.7	0.9	5.6

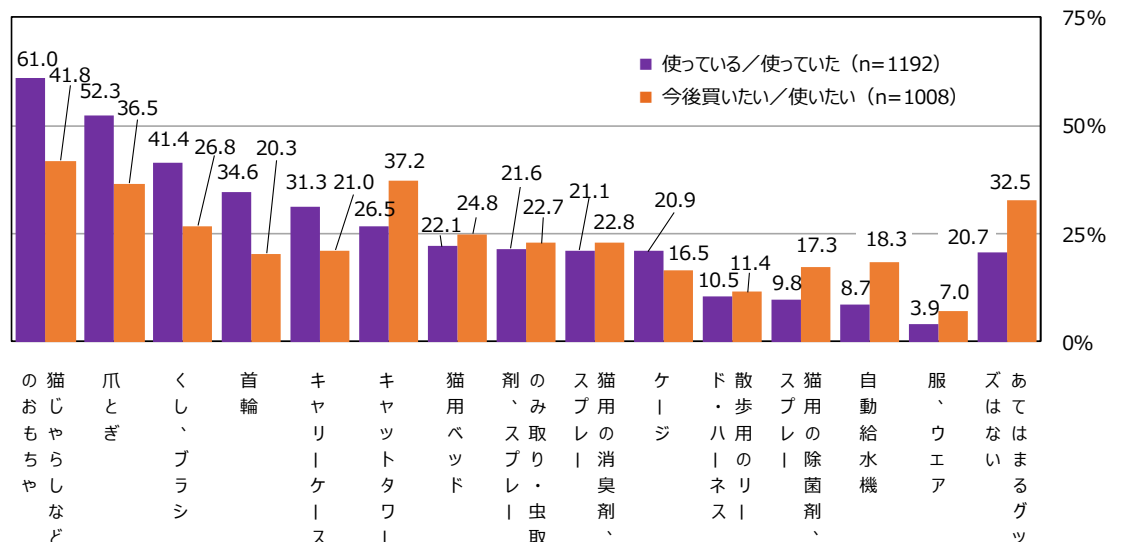
全体より、■ +10ポイント以上 ■ +5ポイント以上 ■ -5ポイント以上 ■ -10ポイント以上

## ■ おもちゃ、身だしなみ…愛猫家はどんなグッズを使っている？

猫を“お迎え”すると、あれこれとグッズを買いそろえたくなるもの。そこで、食器などの必須なもの以外で使っている／使っていたグッズをたずねてみました(図表6)。61.0%と最も多くの人々が挙げたのは「猫じゃらしなどのおもちゃ」。一緒に遊ぶ以外にも、猫のストレス解消の点からも必須アイテムと言えます。次いで、家や家財を傷から守る意味もあってか「爪とぎ」52.3%、身だしなみのための「くし、ブラシ」41.4%、迷子時の対策にもなる「首輪」34.6%、外出や通院時に必須の「キャリーケース」31.3%となりました。

今後買いたい／使いたいグッズでも、トップは41.8%の「猫じゃらしなどのおもちゃ」。「新しいおもちゃを買って、猫ちゃんともっと遊びたい！」という愛猫家の思いが反映されているのでしょうか。これに続いたのが37.2%の「キャットタワー」。高いところが好きな猫の習性を知りにつけ、欲しくなるのかもしれない。

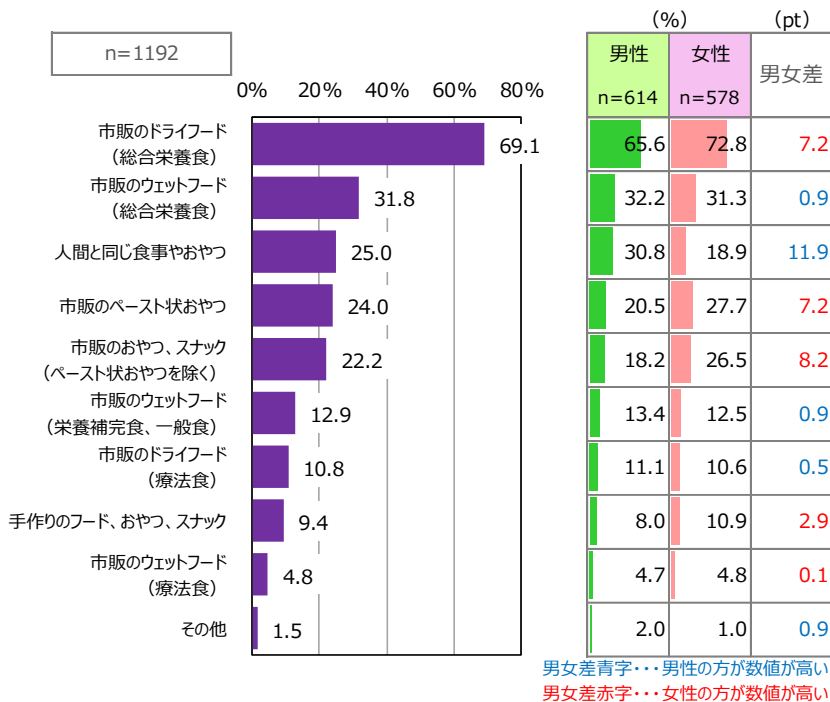
図表6 「飼い猫のために使っている・今後買いたいグッズ」への回答(複数回答)



## ■ 食事のメインは“カリカリ”、1カ月の食事代は…？

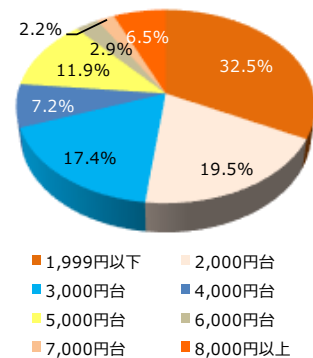
愛猫の健康を保つうえで基本となるのが食事でしょう。店頭には多種多様なキャットフードが並び、どれを選べばよいのか迷うほどです。そんななか、猫にどんな食事を与えているのか聞いた結果が図表7です。69.1%と最も多かったのが「市販のドライフード(総合栄養食)」。

図表7 「飼い猫にどのような食事を与えていますか／与えていたか」への回答 (複数回答)



比較的に安価でバランスよい栄養が手軽に摂れる“カリカリ”を7割が愛用していました。これに続くのが、カリカリと比べて食いつきのよい「市販のウェットフード(総合栄養食)」31.8%。さらに「人間と同じ食事やおやつ」も25.0%に。昔ながらの“ねこまんま”を与えているのか、はたまた飼い主と一緒に高級食材を楽しんでいるのか、気になります。

図表8 「1カ月の猫の食事代」への回答



1カ月の猫の食事代は(図表8)、最多が32.5%の「1,999円以下」に。これを高いとみるか、安いとみるか、意見が分かれるところでしょう。以下、「2,000円台」19.5%、「3,000円台」17.4%と、約7割が4,000円未満と回答。「8,000円以上」という人も6.5%いました。

## ■ 現代人にとって“癒し” “家族” であるペット

いまや大型犬を室内で飼う人も少なくない時代、ペットに対する意識も変化していると思われます。そこで、ペットが自分にとってどんな存在なのかをきいてみました(図表9)。「癒し」と「家族の一員」がともに6割前後と突出、これに「心の支え」21.2%、「寂しさを埋めてくれる」12.3%が続きました。「運動になる」「子どもの教育になる」などの実利的な理由は1割を下回っており、現代人にとってペットは家族であり、精神的なつながりを感じる存在と言えそうです。

性年代別にみると、女性では「家族の一員」「心の支え」が男性を上回り、特に「家族の一員」は50代以下で、「癒し」も30・40代で全体よりも高い値を示しています。さらに男女とも若年～壮年層の広い年代で高値になったのが「心の支え」。「寂しさを埋めてくれる」は20代で高値になっており、若年層を中心にペットがかけがえのない存在になっていると言えます。一方で70代以上では、「心の支え」などペットとの精神的なつながりに意義を見出す比率は低位にとどまりながら、「運動になる」が男性で高位なのは興味あるところです。「近所やSNSでの交流が生まれる」は20代、特に男性で高くなりました。

図表9 「あなたにとってペットはどのような存在ですか」への回答 (3つまで回答、性別・性年代別)

	n=	癒し	家族の一員	心の支え	寂しさを埋めてくれる	運動になる(散歩など)	子どもの教育になる	子どもの遊び相手になる	近所やSNSで交流が生まれる	その他
全体	2987	60.8	59.4	21.2	12.3	7.7	3.5	3.4	1.9	4.3
性別										
男性	1504	57.0	53.9	14.2	13.9	9.4	3.5	4.1	2.3	5.6
女性	1483	64.7	64.9	28.3	10.7	5.9	3.4	2.8	1.6	2.9
性年代別										
男性20代	99	58.6	61.6	34.3	19.2	7.1	5.1	3.0	7.1	1.0
男性30代	58	51.7	60.3	36.2	10.3	1.7	3.4	0.0	3.4	3.4
男性40代	155	63.9	56.8	26.5	16.1	5.2	7.7	5.2	1.9	1.9
男性50代	336	54.5	63.1	14.9	12.5	8.0	3.3	3.9	0.9	3.9
男性60代	479	57.6	50.3	10.2	12.9	8.6	2.1	3.8	1.7	7.5
男性70代以上	377	56.0	46.2	5.0	14.6	15.4	3.4	5.0	2.9	7.7
女性20代	106	61.3	71.7	41.5	17.9	2.8	3.8	2.8	3.8	1.9
女性30代	176	68.8	65.3	36.9	11.4	5.7	5.7	5.7	1.1	1.1
女性40代	296	69.3	69.9	37.5	10.1	5.4	4.7	3.4	1.4	0.7
女性50代	437	65.4	67.0	28.4	12.4	4.3	1.6	0.9	1.6	3.9
女性60代	294	59.9	61.2	19.7	8.8	7.5	1.4	2.7	2.0	3.7
女性70代以上	174	60.9	52.3	10.3	5.2	10.3	6.9	3.4	0.6	5.2

全体より、■ +10ポイント以上 ■ +5ポイント以上 ■ -5ポイント以上 ■ -10ポイント以上

## ■ ペットと暮らす豊かな生活

最後に、ペットの思い出やエピソードなどを自由回答で教えてもらいました。老若男女問わず、愛犬家・愛猫家をはじめペットを愛する人が多くいることを改めて知ること。特に、ペットにメロメロな様子のエピソードには、思わず顔がほころびます。一方で、ペットが亡くなった後「ペットロス」に陥り、新たなペットを飼うことをためらっている人も多いようです。また、ペットに対する人間の身勝手な行動に警鐘を鳴らす声もありました。

### 《 猫、ペットの思い出、エピソード、感じることなど 》

#### 【気ままな猫、相棒の犬…全年代に愛されています】

- 旦那が実家で猫を飼っていて、結婚しても猫と一緒にいいということで猫を飼い始めた。子どもも猫が好きで、触ったり、えさをあげようしたり、生き物に対して興味を持つようになった。(女性・20代)
- 猫に「ってきます」と言わずに出かけると、お出迎えをしてくれず、しばらくご機嫌斜めに。名前を呼ぶと必ずしっぽを振るかお返事をしてくれました。とても愛していました。(女性・40代)
- 近所の猫に会う度に猫の鳴き声で挨拶していましたが、全く相手にしてくれませんでした。ある時その猫に気付かず通り過ぎた瞬間、「ニャーオ」と“ここにいるよ”と言わんばかりに挨拶してくれました。(男性・70代以上)
- 犬を飼い始めて自分の生活はある程度犬を中心に、規則正しくなった。犬を通じて生命の尊さを改めて感じ、犬がぶつけてくる素直な感情に心を打たれ、とても大事な気持ちを思い出させてもらっている。(女性・50代)
- 我が家で生まれた柴犬2頭、それぞれ別の先に引き取られた。半年後位に1頭の子犬を見に行ったところ、私の声が聞こえたたん「キャンキャン」と飛び跳ねて鳴き、飼い主は「こんな嬉しがりようは今までにない光景だ」と言っていた。私の声や顔も覚えていたのかなと嬉しくなった。(男性・70代以上)

#### 【犬猫以外に、こんなペットも】

- 白文鳥は3歳児くらいの理解力はあると聞いていたが、本当に賢いと思う。自分の名前は理解しているので呼ば飛んで来るが、自分が行きたくない時は絶対に来ない。「そろそろ寝る時間だよ」と言うと、寝たくない時は逃げ、人間の会話にも入ってくる。立派な家族の一員として一緒に生活している。(女性・40代)
- 仕事で嫌なことがあってもウサギを撫でると癒される。(男性・50代)
- メダカとヌマエビを飼育しているが、のんびりしている様子に癒されている。(男性・60代)

#### 【保護犬・猫を飼う】

- 小さな頃から動物が好きだった。「大人になったら猫を飼いたい!」と強く思い、調べているうちに保護猫の存在を知った。それ以降は保護猫一択で、初心者でも飼いやすく、猫本人もストレスにならないよう慎重に選び、家族に迎えた。(女性・30代)
- 保護犬を飼っている知人がいる。純粋に犬が好きだが、いまから子犬を飼うには自分の年齢や健康が気になる、それだったら行き場のない犬たちを引き取りたい、という志の高い方で、尊敬しています。(女性・30代)

#### 【動物好きから専門家に】

- 生まれたときから犬、猫に囲まれて過ごしてきて、現在に至るまでいなかった期間がない。おかげでペット関係の専門学校に入り、5年ぐらいトリマーとして働いていた。(男性・20代)
- 小学生時代、酷いじめに遭っていて、飼育小屋が居場所だったことから、飼育動物に感謝できる仕事をしようと思って獣医師になった。今では、人を支えて疲れている動物たちが楽になる医療を提供することが生きる理由になっている。(女性・50代)

#### 【ペットを飼いたいけれど…】

- ペットロスが強かったので、本当はまた飼いたい、辛すぎて飼えない。(女性・50代)
- 捨て猫を保護したり、保護猫を貰ったりしましたが、世の中如何に人間中心で動物を捨てたりする人が多過ぎると思います。責任を持って最後まで面倒を見てほしいと思います。(男性・50代)

## 《 「ペット (猫)」に関する意識調査 質問一覧 》

- Q1. 以下のペットについて、あてはまるものをお答えください。  
【「ペット」と聞けば、思い浮かべるペット (お答えは1つ)】【現在飼っているペット (お答えはいくつでも)】  
【過去に飼ったことがあるペット (お答えはいくつでも)】【将来 (も) 飼いたい・飼ってみたいペット (お答えはいくつでも)】
- Q2. あなたは猫が好きですか。最もあてはまるものをお答えください。(お答えは1つ)
- Q3. あなたが猫を飼い始めた理由にあてはまるものをすべてお答えください。(お答えはいくつでも)
- Q4. あなたは現在飼っている猫、または過去に飼っていた猫をどのように入手しましたか。複数のケースがある場合は当てはまるものをすべてお答えください。(お答えはいくつでも)
- Q5. あなたは飼い猫にどのような食事を与えていますか。あてはまるものを全てお答えください。／あなたが猫を飼っていたとき、飼い猫にどのような食事を与えていましたか。(お答えはいくつでも)
- Q6. あなたは飼い猫の食事に月にいくらくらい使っていますか。一番近いものをお答えください。／あなたが猫を飼っていたとき、飼い猫の食事に月にいくらくらい使っていましたか。(お答えは1つ)
- Q7. あなたは飼い猫の健康のために気を付けていることはありますか。(お答えはいくつでも)
- Q8.あなたが飼い猫のために持っている、または使っているグッズであてはまるものをすべてお答えください。  
【持っている(た)／使っている(た)】【今後買いたい／使いたい】
- Q9. あなたが、猫を飼ったことがない理由にあてはまるものをすべてお答えください。(お答えはいくつでも)
- Q10. あなたにとって、猫／ペットはどのような存在ですか。(3つまで)
- Q11. ペットの思い出、エピソードや、ペットについて思うことなど自由にお書きください。(自由回答)

調査機関：株式会社プラネットによる調査企画をもとに、株式会社ネオマーケティングにて「ペット (猫)」に関する意識調査を実施。

期間：2023年12月4日～8日、インターネットで4,000人から回答を得ています。

**株式会社プラネットとは** <https://www.planet-van.co.jp/>

メーカー、卸売業、小売業がサプライチェーンとして連携し、生活者へのサービス向上を目指して進化を続ける日本の消費財流通を、情報インフラ運営で支えている上場企業(証券コード2391)です。

**From プラネットとは** [https://www.planet-van.co.jp/news/from\\_planet.html](https://www.planet-van.co.jp/news/from_planet.html) (バックナンバーもご覧になれます)

株式会社プラネットが発信しているニュースレターです。消費財や暮らしに関する旬なトピックスなどをご紹介します。

### 本件に関するお問い合わせ先

今リリースに掲載していない結果や属性データのご紹介や、当社担当者が解説を差し上げることもできます。

株式会社プラネット 広報部:河合

E-mail : [koho-pr@planet-van.co.jp](mailto:koho-pr@planet-van.co.jp)